

□6月1日説教(隅野徹牧師)短縮版「すべてのものを満たすため昇られた方」(エフェソ4:1～16)

8節では詩編の言葉が引用され、キリストが天に昇り、ご自分の愛の力に満たすために、罪に囚われていた人たちにも賜物を分け与えられたと述べられます。これは神の霊であり、神の心そのものである聖霊が、キリストの昇天によって豊かに与えられるという約束の言葉なのです。

そして続く10節、はるかに高い天に昇られた救い主キリストが聖霊を、時代を超えてすべての人に送られる理由が教えられます。それは、すべてのものを満たすためです。キリストがもろもろの天よりも更に高い神の国にまで昇られることで、今のわたしたちの目には見えない、遠く離れたお方となっているように思ってしまいますが、そうではありません。キリストはわたしたちがいずれ行くことができる場所、キリストと相まみえることが出来る天にいてくださって、聖霊を送り、私たち一人ひとりの心の中に住んでくださいます。この聖霊の力によって、すべてのものを神の力、愛の力で満たしてくださっているのです。つまりキリストの力は聖霊の無限の力によって、地上であっても至る所に満ちているのです。

11～12節に「そして、ある人を使徒、ある人を預言者、ある人を福音宣教者、ある人を牧者、教師とされたのです。」とあるように、多様性がありながらも神・キリストの愛の力によって、一つの奉仕の業がなされます。そして13節、信仰と知識において一つのものになっていくのです。キリスト昇天後に天から送られる聖霊によって、教会という共同体につながる一人ひとりが、頭であるキリストに向かって成長していきます。この希望に生きてまいりましょう。(終)